

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 1 月 31 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
・ちょっとした動作の工夫やほんの少しの刺激で大きく変化するという、身体のもつ可能性や驚きを体験する事で、運動好きな地域づくりを目指す ・人間の環境・季節・気象の変化による体調変化より、地震前兆に伴う宏観異常現象を観察し事前予知をおこなう			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
壹全では、2001年6月の創業時より、地域の皆さまへの健康増進活動を継続し続け、高齢者向けの足腰の衰え防止、小・中学生向けの運動が苦手、体格・体質等による偏見や誤解を無くす身体の使い方を指導・啓発をしてきました。また、皆さまの健康管理をおこなう中で、地震の前兆現象に伴う変化を観察し続けてまいりました。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	SNSツールの活用に併せオンライン講座を検討	コロナ禍の為、多人数での活動を自粛代わりにLINEやメールを活用した情報発信を活用	会員様宛にメルマガ&ブログ発信
	YouTube映像の年間作成数を増加する	YouTube映像を作成し、場所、年齢、障害の有無や体格差に配慮した啓発を実施	YouTube映像の質の見直し
	学生の身体の歪みを助長するリュックサックの正しい背負い方や家屋内の生活が長びいているのでヒップアップ&腰痛予防体操を促進	パーソナル環境にて少人数啓発の回数を増やす	身体の歪みや不定愁訴をうむ環境や姿勢の見直しを啓発 様々な形で具体的に見せる事で認識を高めてもらう
	気象病と宏観異常現象との違いを示し地震前の変化の存在を啓発	人々の環境・季節・気象の変化による体調変化より、地震前兆に伴う宏観異常現象を観察しTwitterにて情報発信し備えに対する啓発をおこなう	地震発生前の告知を推進的中レベルを向上させる
	寺院・子ども園・小中学校と交渉中 年3回ほどの開催を目指す	市立清水二中、バレーボールクラブチームにてストレッチ講座を開催	運動前・後の身体の保護&維持&回復を推進しケガの抑止につなげる

（記載上の注意）

- 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	全体の壹全(いちぜん)	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	13. サービス業（他に分類されないもの）	
3	従業員（構成員）数	1 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	AC (Ability Creator : アビリティ・クリエイター)
		氏 名	興津 幸仁
5	所 在 地	〒 420-0858	
		静岡県葵区伝馬町10-17-102	
6	ホームページURL	http://www.ichizen.info/	